カリキュラムツリー
健康医療スポーツ学部
柔道整復学科
（2025年度入学生）

DP3　汎用的能力

DP1　知識・理解

DP2・4　当該分野固有の能力 / 態度・姿勢

国　家　試　験

年次

学びのステップ

4 臨床実践能力の獲得

3 専門的思考の育成

2 専門分野の基礎構築

1 教養と専門分野への動機付け

学部共通セミナー

- アドバンスセミナーⅡA
- アドバンスセミナーⅡB
- アドバンスセミナーⅠA
- アドバンスセミナーⅠB
- フレッシュセミナーⅡA
- フレッシュセミナーⅡB
- フレッシュセミナーⅠA
- フレッシュセミナーⅠB

教養科目
社会人としての教養を身に付ける

- ● 基礎医療英語Ⅰ
- ● 基礎医療英語Ⅱ
- ● 情報リテラシー演習・DS概論
- ホリデー留学
- 人間関係論
- コミュニケーション論
- 異文化理解
- 社会福祉原論
- 社会保障
- 生涯福祉
- ボランティア論
- レクリエーション論
- ● レクリエーション実技Ⅰ
- レクリエーション実技Ⅱ
- 健康とスポーツ
- 予防と介護
- 会計学
- 法学
- 民法・商法
- 社会学
- 日本国憲法
- 企業と倫理
- 生活と倫理
- コンピュータ概論
- 心理学
- 臨床心理学
- 老年心理学
- 生命倫理
- 生涯学習論
- 自己啓発
- 地域福祉
- 児童福祉
- 老人福祉
- 障害福祉
- オフィスコミュニケーションⅠ
- オフィスコミュニケーションⅡ
- 国際コミュニケーションⅠ
- 国際コミュニケーションⅡ
- 国際コミュニケーションⅢ
- SDGs概論
- SDGs各論A
- SDGs各論B
- SDGs各論C
- SDGs演習

専門基礎科目
医療人としての基礎知識を身に付ける

- ● 人体の構造Ⅲ
- ● 人体の機能Ⅲ
- ● 人体の構造Ⅱ
- ● 人体の機能Ⅱ
- ● 人体の構造Ⅰ
- ● 人体の機能Ⅰ
- ● 柔道整復術の適応
- ● 内科学Ⅰ
- ● 内科学Ⅱ
- ● 外科学概論
- ● 整形外科学Ⅰ
- ● 整形外科学Ⅱ
- ● リハビリテーション医学
- ● 疾病の科学Ⅱ
- ● 関係法規・社会保障制度
- ○ 予防と介護
- ○ 画像診断学
- ● 疾病の科学Ⅰ
- ● 運動学
- ● 高齢者・競技者の生理学
- ● リハビリテーション概論
- ○ 教育相談
- ○ 検査・測定と評価
- ○ バイオメカニクス
- ○ スポーツ生理学Ⅱ
- ● 公衆衛生学Ⅰ
- ● 公衆衛生学Ⅱ
- ● 医学史・職業倫理
- ● 柔道実技
- ○ 体育実技（ダンス）
- ○ 体育実技（陸上競技）
- ○ 体育実技（水泳）
- ○ 栄養学
- ○ 臨床心理学Ⅰ
- ○ 臨床心理学Ⅱ
- ○ 老年心理学
- ○ 発達心理学
- ○ バイオエシックス
- ○ アロマセラピーⅠ
- ○ アロマセラピーⅡ
- ○ スポーツ医学
- ○ スポーツ生理学Ⅰ
- ○ 健康とスポーツ
- ○ スポーツ心理学
- ○ スポーツ栄養学
- ○ トレーニング科学演習

専門科目
柔道整復師としての基礎知識と応用力を身に付ける

- 卒業研究
- ● 特別総合演習
- ● 柔道整復術適応の臨床判定
- ● 柔道整復学演習Ⅰ
- ● 柔道整復学演習Ⅱ
- ● 柔道整復学演習Ⅲ
- ● 柔道整復学演習Ⅳ
- ● 柔道整復学演習Ⅴ
- ● 柔道整復学演習Ⅵ
- ● 臨床柔道整復学Ⅷ
- 柔道整復学セミナーⅢ
- ● 柔道整復学Ⅳ
- ● 臨床柔道整復学Ⅶ
- 柔道整復学セミナーⅠ
- 柔道整復学セミナーⅡ
- チーム医療演習
- ● 臨床柔道整復学Ⅳ
- ● 臨床柔道整復学Ⅴ
- ● 臨床柔道整復学Ⅵ
- チーム医療論
- ● 臨床柔道整復学Ⅰ
- ● 臨床柔道整復学Ⅱ
- ● 臨床柔道整復学Ⅲ
- ● 柔道整復学Ⅲ
- ● 柔道整復学Ⅰ
- ● 柔道整復学Ⅱ
- ● 柔道整復学実技Ⅸ
- ● 柔道整復学実技Ⅹ
- ● 柔道整復学実技Ⅵ
- ● 柔道整復学実技Ⅶ
- ● 柔道整復学実技Ⅷ
- ● 柔道整復学実技Ⅲ
- ● 柔道整復学実技Ⅳ
- ● 柔道整復学実技Ⅴ
- ● 柔道整復学実技Ⅰ
- ● 柔道整復学実技Ⅱ

専門科目臨床実習
臨床施設での実習

- ● 柔道整復臨床実習Ⅳ
- ● 柔道整復臨床実習Ⅱ
- ● 柔道整復臨床実習Ⅲ
- ● 柔道整復臨床実習Ⅰ

健康医療スポーツ学部柔道整復学科 ディプロマポリシー（2025年度入学生）

1. 知識・理解

① 社会人としての幅広い教養を修得し、国際的な視野を持ちコミュニケーション能力を養っている。

② 人体の構造や機能、病態、疾病、治療にかかわる基礎知識を習得している。

③ 専門領域の理論的な実際の問題解決や実践的スキルを習得している。

④ 専門領域に関する体系的な知識と技能、および適切な態度を十分修得している。

⑤ 医療・保健・福祉に関する健康支援や社会保障制度について、基礎的な知識をしっかり習得している。

⑥ 専門領域の探求のために研究方法や適応範囲を把握し、計画を策定する能力・研究を実施し結果や過程を評価し、目的達成の判断能力を持っている。

2. 当該分野固有の能力

① 対象の人権を尊重した上で注意深く観察し適切な施術の実践ができる。

② 科学的根拠に基づき、適切な施術方法立案し、その成果を正しく評価できる。

③ 地域、病院、施設等のさまざまな場所において、医療分野の様々な課題を発見し、それらの課題に対して適切な解決策を見出す能力を備えている。

3. 汎用的能力

① 自ら課題を見つけ、様々な知識や手段を駆使して解決策を模索し、解決のための具体的な行動計画がとれ、その結果を評価できる。

② 社会人としての言葉遣いや相手の立場を考えることができるような、コミュニケーション能力を習得している。

③ 学修や社会生活を送るうえでのルールやマナーを守り、規則正しい行動がとれる。

4. 態度・姿勢

① 学修や課題に対し、主体的な姿勢、客観的な姿勢、創造的な姿勢で取り組み独自の成果を生み出す力を備えている。

② 医療専門職としての責任感と使命感をもち、専門領域を探求し続け、自己研鑽 を怠らない姿勢を備えている。

③ 生涯を通じて学び続け、知識や能力を向上させる意欲を備えている。

カリキュラムツリー
健康医療スポーツ学部
柔道整復学科
（2024年度入学生）

DP1　社会生活を営む上で、多様な文化や背景を理解、意見を交わすことができる知識とコミュニケーション能力を有している。

DP 2　グローバル社会に対応でき、身体的・精神的な健康情報を把握し、必要な行動を示すことができる自己管理能力を有している。

DP3 ・ 4　柔道整復学領域の知識と技術および態度、それらを適切に活用できる実践力と責任感、倫理観を有している。一般常識を大切に考え、社会や障がいのある人に対して、積極的に健康管理・医療・スポーツなどを介しながら貢献できる能力を有している。

国　家　試　験

年次 / 学びのステップ

4　臨床実践能力の獲得
- ● アドバンスセミナーⅡA
- ● アドバンスセミナーⅡB

3　専門的思考の育成
- ● アドバンスセミナーⅠA
- ● アドバンスセミナーⅠB

2　専門分野の基礎構築
- ● フレッシュセミナーⅡA
- ● フレッシュセミナーⅡB

1　教養と専門分野への動機付け
- ● フレッシュセミナーⅠA
- ● フレッシュセミナーⅠB

学部共通セミナー

教養科目
社会人としての教養を身に付ける

- ● 基礎医療英語Ⅰ
- ● 基礎医療英語Ⅱ
- ● 情報リテラシー演習・DS概論
- ホリデー留学
- 人間関係論
- コミュニケーション論
- 異文化理解
- 社会福祉原論
- **社会保障**
- 生涯福祉
- ボランティア論
- レクリエーション論
- ● レクリエーション実技Ⅰ
- レクリエーション実技Ⅱ
- 健康とスポーツ
- 予防と介護
- 会計学
- 法学
- 民法・商法
- 社会学
- 日本国憲法
- 企業と倫理
- 生活と倫理
- **コンピュータ概論**
- 心理学
- 臨床心理学
- 老年心理学
- 生命倫理
- 生涯学習論
- 自己啓発
- 地域福祉
- 児童福祉
- 老人福祉
- 障害福祉
- オフィスコミュニケーションⅠ
- オフィスコミュニケーションⅡ
- 国際コミュニケーションⅠ
- 国際コミュニケーションⅡ
- 国際コミュニケーションⅢ
- SDGs概論
- SDGs各論A
- SDGs各論B
- SDGs各論C
- SDGs演習

専門基礎科目
医療人としての基礎知識を身に付ける

- ● 人体の構造Ⅲ
- ● 人体の機能Ⅲ
- ● 人体の構造Ⅱ
- ● 人体の機能Ⅱ
- ● 人体の構造Ⅰ
- ● 人体の機能Ⅰ

- ● 柔道整復術の適応
- ● 内科学Ⅰ
- ● 内科学Ⅱ
- ● 外科学概論
- ● 整形外科学Ⅰ
- ● 整形外科学Ⅱ
- ● リハビリテーション医学
- ● 疾病の科学Ⅱ
- ● 関係法規・社会保障制度
- ○ 予防と介護
- ○ 画像診断学
- ● 疾病の科学Ⅰ
- ● 運動学
- ● 高齢者・競技者の生理学
- ● リハビリテーション概論
- ○ 教育相談
- ○ 検査・測定と評価
- ○ バイオメカニクス
- ○ スポーツ生理学Ⅱ
- ● 公衆衛生学Ⅰ
- ● 公衆衛生学Ⅱ
- ● 医学史・職業倫理
- ● 柔道実技
- ○ 体育実技（ダンス）
- ○ 体育実技（陸上競技）
- ○ 体育実技（水泳）
- ○ 栄養学
- ○ 臨床心理学Ⅰ
- ○ 臨床心理学Ⅱ
- ○ 老年心理学
- ○ 発達心理学
- ○ バイオエシックス
- ○ アロマセラピーⅠ
- ○ アロマセラピーⅡ
- ○ スポーツ医学
- ○ スポーツ生理学Ⅰ
- ○ 健康とスポーツ
- ○ スポーツ心理学
- ○ スポーツ栄養学
- ○ トレーニング科学演習

専門科目
柔道整復師としての基礎知識と応用力を身に付ける

- ● 特別総合演習
- ● 柔道整復術適応の臨床判定
- ● 柔道整復学演習Ⅰ
- ● 柔道整復学演習Ⅱ
- ● 柔道整復学演習Ⅲ
- ● 柔道整復学演習Ⅳ
- ● 柔道整復学演習Ⅴ
- ● 柔道整復学演習Ⅵ
- ● 臨床柔道整復学Ⅷ
- 卒業研究
- 柔道整復学セミナーⅢ
- ● 柔道整復学Ⅳ
- ● 臨床柔道整復学Ⅶ
- 柔道整復学セミナーⅠ
- 柔道整復学セミナーⅡ
- チーム医療演習
- ● 臨床柔道整復学Ⅳ
- ● 臨床柔道整復学Ⅴ
- ● 臨床柔道整復学Ⅵ
- チーム医療論
- ● 臨床柔道整復学Ⅰ
- ● 臨床柔道整復学Ⅱ
- ● 臨床柔道整復学Ⅲ
- ● 柔道整復学Ⅲ
- ● 柔道整復学Ⅰ
- ● 柔道整復学Ⅱ
- ● 柔道整復学実技Ⅸ
- ● 柔道整復学実技Ⅹ
- ● 柔道整復学実技Ⅵ
- ● 柔道整復学実技Ⅶ
- ● 柔道整復学実技Ⅷ
- ● 柔道整復学実技Ⅲ
- ● 柔道整復学実技Ⅳ
- ● 柔道整復学実技Ⅴ
- ● 柔道整復学実技Ⅰ
- ● 柔道整復学実技Ⅱ

専門科目臨床実習
臨床施設での実習

- ● 柔道整復臨床実習Ⅳ
- ● 柔道整復臨床実習Ⅱ
- ● 柔道整復臨床実習Ⅲ
- ● 柔道整復臨床実習Ⅰ

カリキュラムツリー
健康医療スポーツ学部
柔道整復学科
（2023年度入学生）

DP1　社会生活を営む上で、多様な文化や背景を理解、意見を交わすことができる知識とコミュニケーション能力を有している。

DP2　グローバル社会に対応でき、身体的・精神的な健康情報を把握し、必要な行動を示すことができる自己管理能力を有している。

DP3・4　柔道整復学領域の知識と技術および態度、それらを適切に活用できる実践力と責任感、倫理観を有している。一般常識を大切に考え、社会や障がいのある人に対して、積極的に健康管理・医療・スポーツなどを介しながら貢献できる能力を有している。

国　家　試　験

年次 / 学びのステップ

4 臨床実践能力の獲得
3 専門的思考の育成
2 専門分野の基礎構築
1 教養と専門分野への動機付け

- アドバンスセミナーⅡA
- アドバンスセミナーⅡB
- アドバンスセミナーⅠA
- アドバンスセミナーⅠB
- フレッシュセミナーⅡA
- フレッシュセミナーⅡB
- フレッシュセミナーⅠA
- フレッシュセミナーⅠB

学部共通セミナー

教養科目
社会人としての教養を身に付ける

- ● 基礎医療英語Ⅰ
- ● 基礎医療英語Ⅱ
- ● 情報リテラシー演習・DS概論
- ホリデー留学
- 人間関係論
- コミュニケーション論
- 異文化理解
- 社会福祉原論
- **社会保障**
- 生涯福祉
- ボランティア論
- レクリエーション論
- ● レクリエーション実技Ⅰ
- レクリエーション実技Ⅱ
- 健康とスポーツ
- 予防と介護
- 会計学
- 法学
- 民法・商法
- 社会学
- 日本国憲法
- 企業と倫理
- 生活と倫理
- **コンピュータ概論**
- 心理学
- 臨床心理学
- 老年心理学
- 生命倫理
- 生涯学習論
- 自己啓発
- 地域福祉
- 児童福祉
- 老人福祉
- 障害福祉
- オフィスコミュニケーションⅠ
- オフィスコミュニケーションⅡ
- 国際コミュニケーションⅠ
- 国際コミュニケーションⅡ
- 国際コミュニケーションⅢ
- SDGs概論
- SDGs各論A
- SDGs各論B
- SDGs各論C
- SDGs演習

専門基礎科目
医療人としての基礎知識を身に付ける

- ● 人体の構造Ⅲ
- ● 人体の機能Ⅲ
- ● 人体の構造Ⅱ
- ● 人体の機能Ⅱ
- ● 人体の構造Ⅰ
- ● 人体の機能Ⅰ
- ○ バイオメカニクス
- ● 柔道整復術の適応
- ● 内科学Ⅰ
- ● 内科学Ⅱ
- ● 外科学概論
- ● 整形外科学Ⅰ
- ● 整形外科学Ⅱ
- ● リハビリテーション医学
- ● 疾病の科学Ⅱ
- ● 関係法規・社会保障制度
- ○ 予防と介護
- ○ 画像診断学
- ● 疾病の科学Ⅰ
- ● 運動学
- ● 高齢者・競技者の生理学
- ● リハビリテーション概論
- ○ 教育相談
- ○ 検査・測定と評価Ⅰ
- ○ スポーツ栄養学
- ○ トレーニング科学演習
- ● 公衆衛生学Ⅰ
- ● 公衆衛生学Ⅱ
- ● 医学史・職業倫理
- ● 柔道実技
- ○ 体育実技（ダンス）
- ○ 体育実技（陸上競技）
- ○ 体育実技（水泳）
- ○ 栄養学
- ○ 臨床心理学Ⅰ
- ○ 臨床心理学Ⅱ
- ○ 老年心理学
- ○ 発達心理学
- ○ バイオエシックス
- ○ アロマセラピーⅠ
- ○ アロマセラピーⅡ
- ○ スポーツ医学
- ○ スポーツ生理学
- ○ 健康とスポーツ
- ○ スポーツコンディショニング
- ○ スポーツ心理学

専門科目
柔道整復師としての基礎知識と応用力を身に付ける

- 卒業研究
- ● 特別総合演習
- ● 柔道整復術適応の臨床判定
- ● 柔道整復学演習Ⅰ
- ● 柔道整復学演習Ⅱ
- ● 柔道整復学演習Ⅲ
- ● 柔道整復学演習Ⅳ
- ● 柔道整復学演習Ⅴ
- ● 柔道整復学演習Ⅵ
- ● 臨床柔道整復学Ⅷ
- 柔道整復学セミナーⅢ
- ● 柔道整復学Ⅳ
- ● 臨床柔道整復学Ⅶ
- 柔道整復学セミナーⅠ
- 柔道整復学セミナーⅡ
- チーム医療演習
- ● 臨床柔道整復学Ⅳ
- ● 臨床柔道整復学Ⅴ
- ● 臨床柔道整復学Ⅵ
- チーム医療論
- ● 臨床柔道整復学Ⅰ
- ● 臨床柔道整復学Ⅱ
- ● 臨床柔道整復学Ⅲ
- ● 柔道整復学Ⅲ
- ● 柔道整復学Ⅰ
- ● 柔道整復学Ⅱ
- ● 柔道整復学実技Ⅸ
- ● 柔道整復学実技Ⅹ
- ● 柔道整復学実技Ⅵ
- ● 柔道整復学実技Ⅶ
- ● 柔道整復学実技Ⅷ
- ● 柔道整復学実技Ⅲ
- ● 柔道整復学実技Ⅳ
- ● 柔道整復学実技Ⅴ
- ● 柔道整復学実技Ⅰ
- ● 柔道整復学実技Ⅱ

専門科目臨床実習
臨床施設での実習

- ● 柔道整復臨床実習Ⅳ
- ● 柔道整復臨床実習Ⅱ
- ● 柔道整復臨床実習Ⅲ
- ● 柔道整復臨床実習Ⅰ

カリキュラムツリー
健康医療スポーツ学部
柔道整復学科
（2018年度～2022年度
入学生）

DP1　社会生活を営む上で、多様な文化や背景を理解、意見を交わすことができる知識とコミュニケーション能力を有している。

DP 2　グローバル社会に対応でき、身体的・精神的な健康情報を把握し、必要な行動を示すことができる自己管理能力を有している。

DP3 ・ 4　柔道整復学領域の知識と技術および態度、それらを適切に活用できる実践力と責任感、倫理観を有している。一般常識を大切に考え、社会や障がいのある人に対して、積極的に健康管理・医療・スポーツなどを介しながら貢献できる能力を有している。

国　家　試　験

年次

学びのステップ

4　臨床実践能力の獲得

3　専門的思考の育成

2　専門分野の基礎構築

1　教養と専門分野への動機付け

学部共通セミナー

- アドバンスセミナーⅡA
- アドバンスセミナーⅡB
- アドバンスセミナーⅠA
- アドバンスセミナーⅠB
- フレッシュセミナーⅡA
- フレッシュセミナーⅡB
- フレッシュセミナーⅠA
- フレッシュセミナーⅠB

教養科目
社会人としての教養を身に付ける

経営と社会
- 会計学
- 法学
- 民法・商法
- 社会学
- 日本国憲法
- 企業と倫理
- 生活と倫理

情報と社会
- コンピュータ概論
- ● コンピュータ演習Ⅰ
- コンピュータ演習Ⅱ

人間と福祉
- 心理学
- 生涯学習論
- 人間関係論
- 自己啓発
- ボランティア論
- 社会福祉原論Ⅰ
- 社会福祉原論Ⅱ
- 社会保障
- 公的扶助
- 地域福祉
- 児童福祉
- 老人福祉
- 障害福祉

コミュニケーション
- ● 基礎医療英語Ⅰ
- ● 基礎医療英語Ⅱ
- ビジネスコミュニケーションⅠ
- ビジネスコミュニケーションⅡ
- オフィスコミュニケーションⅠ
- オフィスコミュニケーションⅡ
- 異文化コミュニケーション
- 国際コミュニケーションⅠ
- 国際コミュニケーションⅡ
- 国際コミュニケーションⅢ
- 海外事情

レクリエーション
- レクリエーション論
- ● レクリエーション実技Ⅰ
- レクリエーション実技Ⅱ

専門基礎科目
医療人としての基礎知識を身に付ける

- ● 人体の構造Ⅲ
- ● 人体の機能Ⅲ
- ● 人体の構造Ⅱ
- ● 人体の機能Ⅱ
- ● 人体の構造Ⅰ
- ● 人体の機能Ⅰ
- ○ バイオメカニクス
- ● 柔道整復術の適応
- ● 内科学Ⅰ
- ● 内科学Ⅱ
- ● 外科学概論
- ● 整形外科学Ⅰ
- ● 整形外科学Ⅱ
- ● リハビリテーション医学
- ● 疾病の科学Ⅱ
- ● 関係法規・社会保障制度
- ○ 予防と介護
- ○ 画像診断学
- ● 疾病の科学Ⅰ
- ● 運動学
- ● 高齢者・競技者の生理学
- ● リハビリテーション概論
- ○ 教育相談
- ○ 検査・測定と評価Ⅰ
- ○ スポーツ栄養学
- ○ トレーニング科学演習
- ● 公衆衛生学Ⅰ
- ● 公衆衛生学Ⅱ
- ● 医学史・職業倫理
- ● 柔道実技
- ○ 体育実技（ダンス）
- ○ 体育実技（陸上競技）
- ○ 体育実技（水泳）
- ○ 栄養学
- ○ 臨床心理学Ⅰ
- ○ 臨床心理学Ⅱ
- ○ 老年心理学
- ○ 発達心理学
- ○ バイオエシックス
- ○ アロマセラピーⅠ
- ○ アロマセラピーⅡ
- ○ スポーツ医学
- ○ スポーツ生理学
- ○ 健康とスポーツ
- ○ スポーツコンディショニング
- ○ スポーツ心理学

専門科目
柔道整復師としての基礎知識と応用力を身に付ける

- 卒業研究
- ● 特別総合演習
- ● 柔道整復術適応の臨床判定
- ● 柔道整復学演習Ⅰ
- ● 柔道整復学演習Ⅱ
- ● 柔道整復学演習Ⅲ
- ● 柔道整復学演習Ⅳ
- ● 柔道整復学演習Ⅴ
- ● 柔道整復学演習Ⅵ
- ● 臨床柔道整復学Ⅷ
- 柔道整復学セミナーⅢ
- ● 柔道整復学Ⅳ
- ● 臨床柔道整復学Ⅶ
- 柔道整復学セミナーⅠ
- 柔道整復学セミナーⅡ
- ● 臨床柔道整復学Ⅳ
- ● 臨床柔道整復学Ⅴ
- ● 臨床柔道整復学Ⅵ
- ● 臨床柔道整復学Ⅰ
- ● 臨床柔道整復学Ⅱ
- ● 臨床柔道整復学Ⅲ
- ● 柔道整復学Ⅲ
- ● 柔道整復学Ⅰ
- ● 柔道整復学Ⅱ
- ● 柔道整復学実技Ⅸ
- ● 柔道整復学実技Ⅹ
- ● 柔道整復学実技Ⅵ
- ● 柔道整復学実技Ⅶ
- ● 柔道整復学実技Ⅷ
- ● 柔道整復学実技Ⅲ
- ● 柔道整復学実技Ⅳ
- ● 柔道整復学実技Ⅴ
- ● 柔道整復学実技Ⅰ
- ● 柔道整復学実技Ⅱ

専門科目臨床実習
臨床施設での実習

- ● 柔道整復臨床実習Ⅳ
- ● 柔道整復臨床実習Ⅱ
- ● 柔道整復臨床実習Ⅲ
- ● 柔道整復臨床実習Ⅰ